

平成31年度 福井市東安居小学校スクールプラン

学校教育目標

《福井市学校教育目標・方針》
 ◇郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
 ◇地域に根ざす「学びの一貫性」

豊かな心を持ち、主体的に学び合い
 たくましく生きる子の育成

《保護者・地域・教師の願い》
 ◇生活習慣や学習規律が確立した子
 ◇夢や希望を持ち、実現に向けて行動できる子
 ◇自ら課題を解決できる子

めざす児童像

- 明るく（生き生き活動する子）
- 仲よく（思いやりのある子）
- たくましく（心身ともに健康な子）

【本校研究テーマ】

自ら学び、共に課題を解決しようとする子の育成
 —基礎・基本を大切に、伝え合う力を育む学習活動の工夫を通して—

【光陽中学校区教育テーマ】
 「地域や学校に誇りを持ち、たくましく生きる児童生徒の育成」

重点目標

「確かな学力」

- ◎学習規律も含めた基礎基本の徹底
- 自分の考えを自分のことばで表現し、課題解決に向かえる、主体的な学習態度の育成

「豊かな心」

- ◎道徳教育を核とした非認知能力の向上
- 「親子道徳」を通して家庭と学校が連携した道徳的価値観の醸成

「健やかな体」

- ◎最後までやり遂げる強い心と体の育成
- 安全や規則正しい生活を心がけ、健康な生活を送ろうとする態度の育成

「信頼される学校」

- ◎地域素材の活用と地域の方々との交流活動の推進
- 地域を愛する豊かな心づくり

具体的な取組と数値目標

- ・様々な活動の中で、児童が安心して過ごせる「心の居場所づくり」や互いに認め合い励まし合う「絆づくり」を進める。
- ・すべての児童にとって「楽しい、わかる、できる」授業づくりを推進し基礎学力の定着を図る。
- ・本に親しむ習慣づけを図るため、委員会活動を中心に様々な企画を立てたり、読み聞かせボランティアの拡充を図ったりする。

- ・授業がよくわかる。
児童アンケート93%以上
- ・みんなで何かをするのは楽しい。
児童アンケート100%
- ・ひとり年間50冊以上本を読んだ。
読書調査

- ・授業や行事等で児童につけたい非認知能力を明らかにし、形成的評価を繰り返しながら自己有用感を高めていく。
- ・毎日安心して登校できるよう、教育活動全体を通して生命尊重や相手を思いやる態度を養い、いじめ0の学校づくりを行う。

- ・各行事の成果と反省を話し合う場を設ける。 実施率100%
- ・我が子は思いやりや正義を大切にする心が育っている。 保護者評価90%以上

- ・校内会議の精選や会議時間の見直しを行い、効率のよい学校運営を行う。
- ・週1日の定時退庁や電話問い合わせの受付時間協力を地域や家庭にお願いする。

・昨年より退校時間が早くなった。教職員100%

- ・体育の授業や業間、体育大会、マラソン大会、なわとび大会等を通して、体力向上と絆を深める。
- ・「東安居っ子のスマートル」を活用し、我が家のルールづくりを行い親子で順守する。

- ・体力テストで県平均を上回る項目が10項目以上
体力・運動能力調査
- ・ルールを作り守った。
保護者アンケート80%以上

- ・東安居の人・自然・歴史・文化・行事との関わりを通し、ふるさとを愛する心を育て、地域と共に歩む学校づくりをめざす。
- ・日頃から家庭・地域との情報交換を密接に行い、安心・安全な学校づくりに取り組む。
- ・気がかりな児童の情報を共有し早期に対応することで、新たな不登校を出さない。

- ・地域のことを調べ学ぶことは楽しい。
児童アンケート90%以上
- ・一人ひとりを大切に温かく指導している。
保護者アンケート90%以上
- ・終礼時の情報交換実施率
実施率100% 新規不登校なし